

富士フイルムメディカル

<http://fms.fujifilm.co.jp>

BOOTH

No.
D5-04theme... **NEVER STOP 医療のいちばん近くから、次代を見つめる。****主な展示製品**

- 医用画像情報システム
「SYNAPSE SAI viewer」
- 3次元画像解析システム
ボリュームアナライザー
「SYNAPSE VINCET」
- 線量管理オプション
「SYNAPSE DS」
- 一般撮影間接変換 FPD 装置
「FUJIFILM DR CALNEO Flow」
- 軽量移動型デジタル X 線撮影装置
「FUJIFILM DR CALNEO AQRO」
- デジタルマンモグラフィ
「AMULET Innovality」
- ワイヤレス超音波画像診断装置
「iViz air」
- 感染症対策関連商材
「Hydro Ag+アルコールスプレー・クロス」

FUJIFILM
DR CALNEO Flow G47

SYNAPSE SAI viewer

2021年国際医用画像総合展では、お客様に安心して来場いただけるよう感染症対策を徹底し、AI技術と富士フイルム独自の画像処理技術を組み合わせた次代の医療を担うシステム・ソリューションによる画像診断サポートや、効率的な検査ワークフローを提案する。ITソリューションでは、AI技術を活用して開発した画像診断サポート機能による読影ソリューション他、快適で使いやすい画像診断支援システムを紹介する。

- 一般X線撮影間接変換FPD装置
「FUJIFILM DR CALNEO Flow」

「FUJIFILM DR CALNEO Flow」は、X線を読み取るセンサーパネルに軽量の薄型フィルム TFT 基板を採用し、当社画像読取技術と組み合わせ

て軽量化と高画質化を実現した一般X線撮影間接変換 FPD 装置である。14×17インチ、17×17インチの2種類のサイズと、GOS、Cslの2種類の蛍光体の計4機種をラインアップする。GOSシリーズの14×17インチサイズは約1.8kg（バッテリーを除く）で、当社CRカセット（約2.0kg）より軽量化を実現した軽量タイプであり、CslシリーズのDQEは、58%(1Lp/mm・1mR)を達成した高画質タイプである。

- AIプラットフォーム
「SYNAPSE SAI viewer」

富士フイルムの医用画像情報シス

テム「SYNAPSE」上で、AI技術を活用した画像診断ワークフロー支援を実現するAIプラットフォーム「SYNAPSE SAI viewer」向けのアプリケーションとして、「肺結節検出機能」と「肺結節性状分析機能」を、AI技術を活用して開発した。「肺結節検出機能」は、肺結節の候補を検出して表示する機能である。その候補を医師が再確認することで、見落しの低減に貢献する。「肺結節性状分析機能」は、肺結節の性状を分析して結果を表示するとともに、対象の所見文候補を提示する機能であり、医師が所見を書く作業をサポートする。